

将来を担う児童・生徒の皆さんに税金への理解・関心を深めてもらうため、須崎税務署管内租税教育推進協議会では「税に関する作品」の募集を毎年行っています。町内の小中学校の皆さんの入賞作品をご紹介します。

令和6年度「税に関する作品」の入賞作品

須崎税務署長賞

四万十町立窪川中学校 三年 多賀 萌々音

私たちは、毎日たくさんのお金と関わりながら生きています。税金は大人だけが納めるものだと思っていました。子供でも消費税を納めます。前に消費税率が八パーセントから十パーセントまで引き上げられました。私は別に増やさなくて良いのじゃないかと思う。その理由を調べてみました。これからの日本は、少子高齢化が進んでいきます。そのため働いて税金を納める人は少ないのに、年金や介護に必要なお金がかかる高齢者が多くなります。今の税の仕組みでは私たちの将来が大変なものです。だから、増税をしてこの課題に対応するための資金を確保しているそうです。税は私たちが日常生活を送る中で重要な存在です。税金がなければ政府は公共サービスを提供するための資金が得られず、警察や消防など安全保障に関わるサービスが無くなります。教育や医療、社会福祉といった基本的な生活支援も税金によって支えられているため、私たちが安心して生活するために欠かせないサービスであり、税金を通じてその恩恵を受けているのです。つまり税金がなければ私たちの生活は成り立たないと言っても過言ではありません。

税金には社会の格差を是正する役割もありました。所得税の累進課税制度は、収入の多いほど高い税率が適用される仕組みであり、これにより所得格差の拡大を防ぐことができます。税金を通じて、社会の公平性を維持し、全ての国民が平等な機会を得られるようにすることは、持続可能な社会を築くために不可欠です。だから税金はとても大切なものだし、良い社会を目指していくには脱税は駄目だと思っています。また税金に対する不満や批判も多くあります。特に税金の使い道や徴収方法に対して不信感が多いそうです。税金は国民の財産から強制的に徴収されるものだから、その使い道が不透明だったり、無駄遣いがあると国民の不満は避けられないと思います。私も大人になって税金を今より納めているときに、皆が必要としないものに税金が使われると不満が溜まると思います。そのため政府や地方自治体は、税金の使い道を明確にし、効率的で無駄のないよう心掛けることが求められることが分かりました。

私たち中学生も将来、社会に出ることを考えると税金に対する理解を深める必要があると思います。税金は私たちの生活に不可欠なものであり、社会全体の福祉を実現するために重要な役割を果たしています。税金によって支えられている公共サービスのおかげで安心安全な生活をおくれています。この使い道によって社会が変わることを理解して、正しく税金を納めることは国民としての責任であります。これからも良い社会を築いていくためには、税金を通じて国民と政府が協力することも大切だし、私たちが積極的に社会貢献をしていきたいと思っています。

公益社団法人須崎法人会 会長賞

四万十町立大正中学校 三年 真城 結衣

私たちが支えてくれている税

「おはよう」と笑顔で学校生活をおくれていることはなぜなのでしょう。それは、国が私たち学生のために教科書の無償や、教育費を補助してくれているからこそ、私たちは教育を受けることができています。

そんな中、みなさんは「消費税」という言葉を知っていると思います。そして、ほとんどの人が一度でも払ったことがあると思います。とても身近にある消費税ですが、消費税があることでお金を元の商品の値段より多く支払わないといけなくなってほしいと思う人もいます。そんな消費税ですが、実は私たちの暮らしのためによく使われていることを存じでしょうか。使い道としては主に社会保障費に使われていることが多いです。医療、年金、介護など、私たちの生活を守るために欠かせないものばかりです。その他にも、地域の警察や消防、地方自治体への交付、町や道路の整備、科学技術等、私たちの暮らしをよりよくするために税金は使われています。

そして最近では、「スマホ決済」というものを使用している人が増加しています。スマホ決済には「キャッシュレス・ポイント還元サービス」というものがあります。これは、普段消費税の負担により、世の中の消費が冷え込まないように行っているものらしいです。スマホ決済を使うことで、消費税のことを少しでも楽に思えると思います。

私たちが普段払っている消費税には、この暮らしをよりよくするために大切なことばかりで、サービスもあるため、消費税と関わりませんが、考えずに買い物ができます。これらのことから私たちは税金があることで良い暮らしができるようになっていきます。学生の人も、教育費の補助や教科書の無償などをしてきて学校生活をおくれているため感謝しなければなりません。さらに良い生活をおくるには、自分が何をすればよいか、どんなことならできるか考えて今後の生活をよりよくしていきます。

公益社団法人須崎法人会 会長賞

四万十町立千川中学校 三年 久保 宮奈

世界のさまざまな税

皆さんは世界には変わった税金があることを知っていますか？私は、ほかの国にはどんな税があるのかが気になり、調べて見ました。その中の3つを紹介します。

一つ目は、イギリスの「渋滞税」と「デジタル税」です。渋滞税は、イギリスのロンドンで導入されている税金です。渋滞の緩和や大気汚染の解消などを目的に、二〇〇三年から導入されています。その内容は、区域と時間を決め、決められた時間に決められた区域を走行する車に対して、税金を課するというものです。導入した翌年には、渋滞が三十%も減少するなど、一定の効果を得る税金となっています。

デジタルサービス税は、二〇二〇年からイギリスで導入された新しい税金です。内容は、イギリスのユーザーのデジタルサービスの利用により得た収益に対して、サービスを提供している企業に税金を課するというものです。ソーシャルメディアサービスや検索エンジンなどのサービスを提供する企業のうち、一定金額以上の収益をあげている企業が課税の対象になります。イギリスのユーザーから得た収益のうち、二千五百万ポンドを超えた場合、超えた収益に二%の税金が課されます。

二つ目は、中国の「月餅税」です。月餅税は、中国で導入されている税金です。月餅とは、中国でよく食べられている月に見立てたお菓子です。中国では、9月の中秋節の日に家族で月餅を食べたり、親しい人やお世話になっている人に月餅を送ったりするのが習慣となっています。また、会社が従業員に福利厚生として月餅を渡す習慣もあります。

月餅税とは、月餅を受け取った人に税金をかけるというものです。もちろん反対意見も多く、月餅税が導入された二〇一一年には、中国で大きな議論となりました。三つ目は、アメリカの「ソーダ税」です。

ソーダ税は、アメリカの各州で導入されている税金です。肥満対策を目的とし、ソーダなどの清涼飲料水に税金をかけるというものです。ソーダ税の効果があるのかどうかは、各州で意見が分かれており、導入を検討する州もあれば、廃止をする州もあります。

私は世界が変わった税金について調べてみて、それぞれの税金の内容や背景を知ること、各国のさまざまな事情を垣間見ることができるといふことや海外に旅行に行くときなどはこれらの税金に接することもあると思うので、その税金の役割や導入された背景などを調べることで、その国を理解することができるのだと分かりました。

四国税理士会高知支部 須崎部会 部会長賞



七里小学校 1年 横山 颯記

公益社団法人 須崎法人会 会長賞



七里小学校 4年 沖田 古都

須崎税務署管内青色申告会 連合会 会長賞



七里小学校 1年 野村 月花

金賞

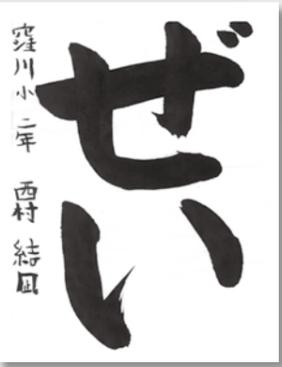


窪川小学校 6年 八木 歩澄

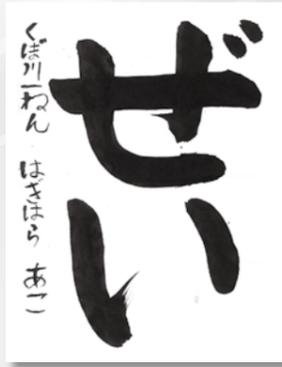
金賞



窪川小学校 4年 津野 葉奈



窪川小学校 2年 西村 結風



窪川小学校 1年 萩原 杏心



田野々小学校 6年 市原 伶那